

ギター製作の授業

取材レポート



ギタークラフトコース1年生
水谷 三倉 佐藤



●ギタークラフトコースの特徴

2年間で、5種類のギター/ベースを製作します。4本のトラディショナルな楽器を製作し、様々な観点から疑問点を持ち、偏りのない知識や技術の習得を目指します。
そして5作目には、学んだ基本技術や知識を基に、各自がコンセプトを考えて、それに基づき設計、製作を行います。

モデル	製作を通して学ぶこと	加工の様子
 ストラトキャスター	<ul style="list-style-type: none"> ・素地調整 ・塗装（ウレタン） ・バフがけ ・ナット加工 ・弦高/ネック/オクターブ調整 	 ネックジョイント部の加工の様子
 ジャズベース	<ul style="list-style-type: none"> ・トラスロッド加工 ・トリマー加工 ・ネックシェイプ加工 ・組み込み/調整 	 ボルトオン構造の木材加工（ネックポケット加工）
 レスポール	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディアーチ加工 ・ネック仕込み角度の設定 ・への字ネック加工 ・バインディング加工 	 セットネック構造ジョイント部分の加工
 アコースティックギター	<ul style="list-style-type: none"> ・サイド材曲げ加工 ・プレーシング加工 ・アリ溝加工 ・ラッカー塗装 	 アリ溝加工の様子



ギター製作では、考える力や創造する力、アイデアを出す力、それらを実現させる力がとても大切です。
5作目では、各自がコンセプトを考えて、ギター製作を行います。4作目までに習得したことを活かし、独創性のある完成形を目指します。



ボクのこだわり

独自シェイプのボディで5弦ベースを製作しました。フレットは24フレット仕様で、ピックアップにはアクティブ回路を搭載しました。トップ材にはフレームメイプル材を、指板にはエボニーを使用しました。



ワタシのこだわり

Epiphone wilshire を参考に製作したギターです。ボディ、ネックともにマホガニーを使用した、本物と同様のスペックに仕上がりました。木材の色や木目を生かしたシースルー塗装をしました。ブリッジには手作りのエボニープレートを組み込み、オリジナリティを加えました。

●ギタークラフトコースの今後

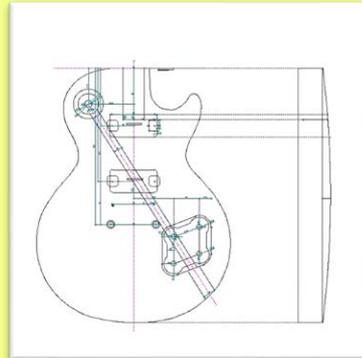


業界の流れや時代に合わせて、学生たちが2D・3Dでの製図や3Dプリンター加工などにチャレンジでき、より高いレベルで、より積極的にギター製作に取り組めるような環境づくりをしていきたいです。

ギタークラフトコース担任 林先生



小刀の柄など
治工具の製作



コンピューターを
用いた設計 (CAD)

学校法人 中部学園 (職業実践専門課程認定校)

中部楽器技術専門学校

CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6



0120-856-854

TEL:052-741-6788 学校案内無料送付中

URL:www.chubugakki.ac.jp

